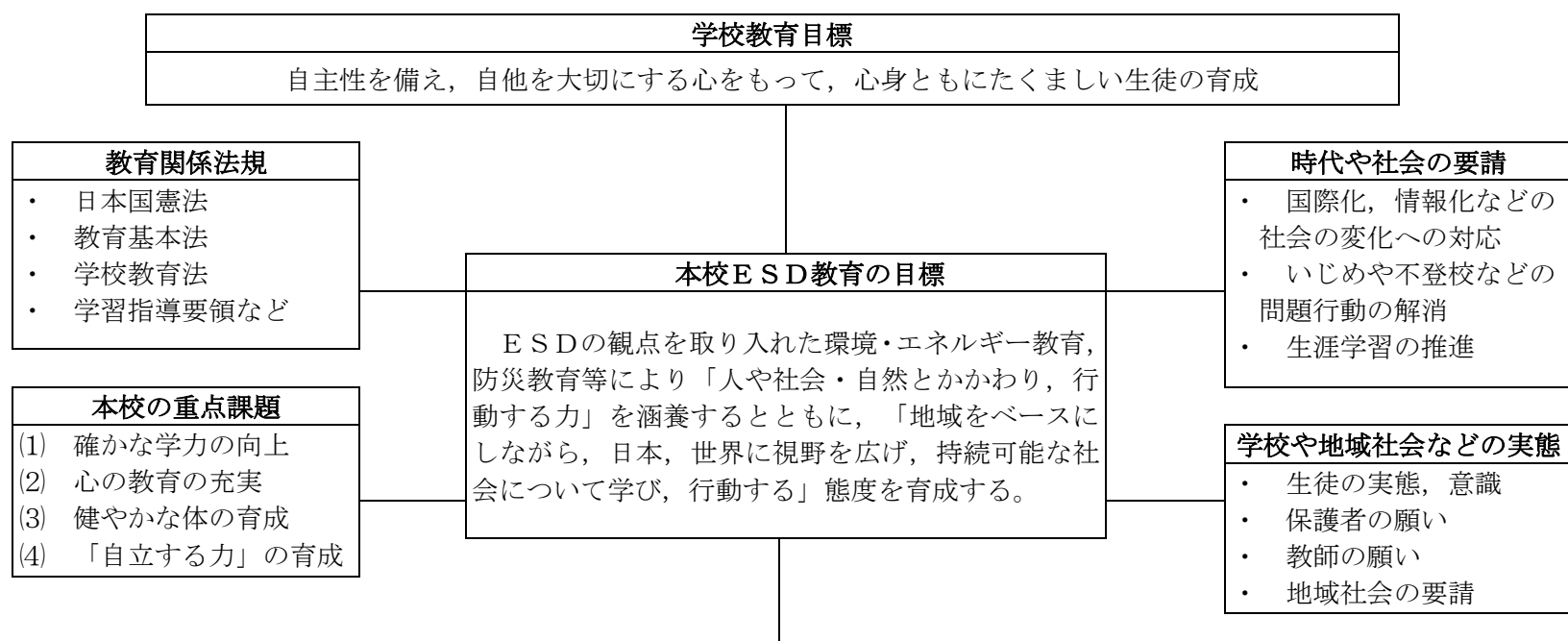


E S D （持続発展教育） 全体計画



各学年の指導の重点		
1 年	2 年	3 年
様々な教育活動を通して、持続可能な社会づくりに必要な考え方を明らかにしていく。また、屋久島において取り組んでいる持続可能な社会づくりについて、自然体験学習（小杉谷集落散策、環境文化村センター見学）を通して、多面的に学んでいく。	教育活動を通して、持続可能な社会づくりにはどのような視点のつながりが必要か明らかにしていく。また、屋久島において取り組んでいる持続可能な社会づくりについて、地域・環境学習（郊外清掃活動等）を通して、多面的に学んでいく。	持続可能な社会づくりの担い手としての自らの生き方について、教育活動を通して明らかにしていく。また、社会の担い手としての学習（職場体験学習、キャリアデザイン）を通して、自分たちに何ができるか考え、行動する態度を養う。

E S Dの指導方針
自分が生きている世界遺産の島『屋久島』について、様々な学び方や調べ方を活用しながら学ぶ中で、自分の将来や『屋久島』のよりよい未来の在り方を考え、社会全体としての「よりよい生き方」について考えることができる生徒の育成。

各教科	総合的な学習の時間	特別な教科道徳	キャリア教育
国語 ・深く考える力を育成する。 ・自分の考えや思いを表現する力、コミュニケーション能力を育成する。 ・日本文化を理解し大切にして、継承・発展させる力・態度を育成する。	第一学年 ・自然体験学習…町内の研修施設を活用し、様々な学び方や調べ方を生かして屋久島の環境・文化・歴史を大切にしようとする心情を育む。	・思いやりと人間愛の精神をもって生命の尊さを理解し、自他の生命を尊重する生徒を育成する。	・地域から日本・世界へと視野を広げ、社会貢献、環境保全など、職場・職業等を通じて様々な人々と課題の解決のために協働する「持続可能な社会」の構成員となる資質・能力を高める。 国際理解教育 ・各教科等や日本の伝統や文化について深く理解し尊重する態度を基盤とする。 ・異なる価値観を認め、異文化・多文化の国際社会の中で世界の平和を尊重し、持続可能な社会をつくる。
社会 ・持続可能な社会を形成するという観点から、私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を探究させ、自分の考えをまとめさせる。	第二学年 ・修学旅行…平和学習を通して、日本の文化・歴史に触れ、伝統・文化を大切にしようとする心情を育む。 ・地域・環境学習…ゴミ分別の大切さや世界遺産の素晴らしさを再認識し、学びを深める。	環境・エネルギー教育 ・グリーントイなど環境にかかわる活動を通して課題意識をもたせ、持続可能な社会や環境づくりのために責任ある行動を取れる生徒を育成する。	
理科 ・自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察し、持続可能な社会をつくるために何ができるかを考えさせる。	第三学年 ・進路選択…よりよい生活や学習、進路生き方等を目指して、自ら課題を見い出していくことの大切さを理解させ、主体的に課題に対応していく能力を育てる。 ・職場体験学習…体験活動を通して、社会における様々な役割を理解するとともに、社会と自己のかかわりから、多面的に自分の特徴や適性を理解し、目標を目指して自分を高めようとする態度を育てる。	人権教育 ・職場体験や地域貢献活動等を通して、社会に大きく視野を広げ、持続可能な社会の担い手としての生き方を考える生徒を育成する。	
技術・家庭 ・再生可能エネルギーの利用技術やエネルギーに関する技術が、生活や社会を豊かにしている場面、逆に生活や社会を脅かす場面を通して、持続可能な社会の実現について具体的に考えたり話し合ったり伝えたりさせる。			
保健体育 ・心身の機能の発達の仕方及び精神機能の発達や自己形成、欲求やストレスへの対処などの心の健康等、心身ともに健全な発達を促し個人生活を中心として合理的に理解する資質や能力を育成する。			